

## 自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>I. 理念に基づく運営</b> <b>1. 理念と共有</b>				
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	施設運営理念があり。住み慣れた町で地域住民との係わりを持って生活してもらう。	○	地域交流会を月1回開催中
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	近隣の散歩や個別希望などに応じたの支援をしている。	○	個人の生き方を大切に考え、希望に応じた支援を実施して行きたい。
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	地域交流会開催の中で地域の理解を得ている。	○	今後も地域交流会や地域のイベントの参加などにより地域の方の理解を得て行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	毎日の近隣の散歩により挨拶をしたり、声をかけてもらったりしている。	○	近隣のイベントの参加の機会を増やして行く。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	秋のお祭りにおみこしが回って来るなど地域行事に参加している	○	地域交流会を通じて地域行事を把握し参加できるものは参加して行く
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域交流会の発足などで照り組んでいる	○	今後地域交流会を通じて入所者との交流も行なっていく
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の内容を把握し出きていない所は出きるように努力している	○	職員全員の評価内容を把握し、全員で改善出きるように努める

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	現在地域の方に運営推進委員の依頼中
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	市のイベントなどにも参加を行なう
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	相談時や面接時に説明を行っている。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	今後高齢者虐待防止法などの研修に参加

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	家族との十分な話し合いを行い説明を行なっている	○	日頃からコミュニケーションを図り信頼を得られるように努力している
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	日頃からコミュニケーションを取り利用者の思いなどを把握するように努めている。また池田市派遣相談員の方とも連携をとり意見の把握を行っている	○	不満や意見を聞き改善に努めていく
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	面会時や連絡事項があるとき電話などで報告を行なっている。	○	体調不良時などは蜜に報告を行なっている。今後月刊新聞など検討中

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時に施設、行政などの苦情受付の説明を行なっている	○	苦情が生じた場合はすぐ対応し解決に努めている
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のユニット会議の開催	○	今後全体会議などを設けて行く
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	外出時や行事などを行なう場合に配慮を行なっている	○	個別対応にも順応できるように努めていく
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動時は利用者には不安を与えないように配慮している	○	移動を考える前に状況をよく判断し支障のないように行なう

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	リーダー研修や現任研修、新人研修など本部にて実施している	○	今後外部研修などの参加も依頼して行く
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	各事業所会議などの参加にて交流を図っている	○	市の主催する会議などの参加などによりコミュニケーションを図る
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	日頃のコミュニケーションによりストレスを感じた時に話ができる環境を整える	○	職員の歓送迎会や忘年会などの開催によりストレス解消を図る
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	ユニット会議などでより良いケアの方法を話し合い実践している	○	毎月の行事企画時利用者も職員も楽しめる企画を考えて行く

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面接時生活暦などを十分に家族から伺い不安時など対応できる努力を行なっている	○	本人の訴えにより家族の協力なども依頼し不安が無くなるように努めている
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面接時家族との話合いから苦悩や悩みを聞きだせるようにし、相談にも応じていく	○	今までの苦労や苦悩を聞き同調する事や相談があればの事を説明して行く
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	十分に話し合っより良いサービスを提供していく	○	本人の思いも配慮し家族にも納得してもらえる支援を考えて行く
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	落ち着いた生活を送れるように好きな事を一緒にする事や外出などでコミュニケーションを図って行く	○	常に笑顔で接し安心感持っていただくようにする

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活暦を把握し得意な事を聞きだし、利用者自身が自信を持てるように支援して行く	○	利用者にお世話をしてもらっていると感じさせず、自分も役に立っていると思ってもらえるよう努める
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族とのコミュニケーションを図り何でも報告出きるように努めている	○	より良いケアができるように家族と相談しながら支援方法を決定して行く
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	いままでの家族との係わり方を把握しより理解し合えるように支援して行く	○	本人の思いなどを聞き出し、行事の参加などで家族との交流に努めていく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みだった場所へ行き友人との交流を図っている	○	施設への訪問面会も依頼する
31	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レクリエーションの参加や行事参加によりコミュニケーションを図っている	○	利用者同士が家族のように支えあえる生活を目指していく
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	日頃のコミュニケーションにより終了後も支援ができる事はして行く事を説明している	○	終了時今後も相談にのる事を伝える

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個人対応を重視しそれぞれの希望にそった支援を行なっている	○	家族や本人との話し合いにて決定している
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	面接時に家族や本人から生活歴や好きな事などを伺っている	○	好きな事などを出来るだけ続けていただけるように支援している
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	本人の好きなように過ごしていただき時々家事手伝いなどを促し本人の意思確認を行い出来る事はして頂く	○	必ず意志確認を行い了承を得て作品作りや家事手伝いを促している

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人の状態を確認し支援の必要な部分を把握して行く。希望などは少しずつ伺っていく</p>	○	<p>家族にも希望を伺い本人の状態を見ながら支援して行く</p>
37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>本人に状態に変化が生じた時はその時必要な援助を話し合い家族との話し合いの上ケアプランに上げている</p>	○	<p>本人の思いも重視しケアプランに取り入れるようにしている</p>
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎月のユニット会議での話し合いをふまえ介護計画を作成している</p>	○	<p>スタッフ間の介護計画の共有を図って行くことが課題である</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支 援をしている	個別支援の重視を図っている	○	個々の希望を聞き個別支援を行なっている
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、 民生委員やボランティア、警 察、消防、文化・教育機関等 と協力しながら支援している	地域交流会を開催して行く上 で交流を図っていく	○	地域の方のご理解を得ながら 今後支援をお願いして行く
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、 地域の他のケアマネジャーや サービス事業者と話し合い、 他のサービスを利用するための 支援をしている	本人の意向を確認しながらサ ービスの必要性を検討して行 く	○	家族とも話し合いより良いサ ービスがあれば提供して行く
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、 権利擁護や総合的かつ長期的 なケアマネジメント等について、 地域包括支援センターと協働 している	今の所地域包括センターとの 競技は行っていないが権利 擁護のパフレットなどは事務 所に置いている	○	面接時必要な方には権利 擁護の説明を行なっている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時施設の医療体制などの説明を行い入所後の医療については家族と決定している	○	施設の連携医療機関や往診医との関係などの説明を行っている
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医との連携や往診医との連携を取り状態の報告などを行なっている	○	本人の状態により専門医の診療などを進めている
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	本部の健康管理室との連携を行なっている	○	往診医療機関の看護師などとも連携を図っている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p> <p>かかりつけ医も相談や往診との相談により適切な医療機関への入院を支援している</p>	○	入院後も家族との連絡を取り状態の把握や退院時の相談などにも応じている
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> <p>入所時に家族との話し合いの中で施設で出来る事や出来ない事などの説明を行っている</p>	○	今後の終末期の対応を健康管理室なども交え協議して行く
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> <p>本人の状態によりかかりつけ医や往診医との協議は行なっている</p>	○	終末期への取り組みは今後の課題として協議して行く
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> <p>転居時はサマリーを初め本人の医療情報なども確実に伝えている</p>	○	転居後の担当者の方にも本人の性格、家族関係など細かく伝えている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> <b>1. その人らしい暮らしの支援</b> (1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	生活暦を参考にしながら声かけにも注意を行なっている	○	丁寧な声かけを心掛けており、スタッフ間の統一を図っている
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	普段の会話の中から希望などを伺い希望にそのような支援を行なっている	○	出きるだけ自己決定ができる機会を設けている(お茶の時間に自分の飲みたいものの選択など)
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩やレクリエーションなど本人の意思を尊重している	○	趣味を楽しむ時間や外出を楽しむ時間など希望を聞きながら行なっている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の着たい洋服などを聞きながら更衣支援を行なっている。美容は家族と相談の上行なっている	○	買い物など一緒に行き好きな物を購入してもらっている
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	普段は厨房にて調理を行なっているため、時々利用者と一緒に調理を楽しむレクリエーションを行なっている	○	本人の意思を確認しながら後片付けなどの家事手伝いを促している
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	家族の意見の聞きながら支援できる方は行なっている	○	個別対応時家族の了承を得て行なっている
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	面接時家族や本人から状況を伺い排泄の様子観察を行った上でより良い方法があれば提案している	○	トイレの表示などスムーズにトイレまで行けるような支援を行なっている
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時本人の意思を確認し行うようにしている	○	希望された時間により対応できない場合もあるが、出きるだけ希望に沿うように努めている
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	自由に生活をして頂き生活ペースの把握に努めている	○	本人の状況に応じて支援を行なっている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	利用者の希望から外出や外食などの支援を行なっている	○	個別対応で希望の趣味などを楽しんでもらう支援を行なっている
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	殆どの方に本人管理の額は小額で依頼している。近隣への買い物など希望があれば支援している	○	自己管理の能力により支援方法を考慮している
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	散歩や外出などは意志確認の上で行なっている	○	行事計画などにより遠くの外出も支援している

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別対応にて支援している	○	家族との話し合いにより援助を依頼する事もある
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望があれば支援している	○	家族との話し合いにて電話の可能な時間や回数などを決めている
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	厳密な面会時間を設定せずいつでも面会が出来るようにしている	○	家族に依頼し知人の面会などを促している

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を毎月1回開催し廃止に向けて取り組んでいる	○	今後研修などで介護保険における禁止事項などを全職員が周知できるように取り組んで行く予定
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵を掛けず夜間のみ鍵をかけるようにしている	○	安全のため一人で外出をしないように常に所在確認を行っている
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は本人の好きなように過ごしていただいているが所在確認は常に行なっている。夜間は1時間毎に巡視を行なっている	○	他の居室に入る方がいるため常に様子観察を行っている
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険な物品であっても使用可能な方には職員が見守り使用している	○	普段は危険な物品は鍵の掛かる場所に保管しているが使用時は職員が必ず傍につくようにしている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	毎月のユニット会議にて利用者の状況確認を行い、事故防止に向けて取り組んでいる。事故発生後カンファレンスにて防止に向けて話し合いを行っている	○	事故防止委員会参加などで知識を共有し事故防止に取り組んでいる
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時はすぐリーダーに連絡し指示を仰ぐようにしている	○	応急手当の方法は掲示しているが今後実践研修を予定して行く
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	非難方法を書面にて提示している	○	災害時の非難場所の把握を行い、火災訓練を今後実施予定
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	日常生活から起こりうるリスクなどは家族に報告し対応などは家族と話し合いながら行っている	○	身体状況に変化が起きた時はすぐ家族に連絡を行っている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックなどで体調の変化に注意を行い異変時はすぐ家族、リーダーに報告しかかりつけ医などの診療を行なっている	○	体調不良時は家族に連絡し今後の対応を話しあい、かかりつけ医への診察などの許可をいただいている
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人のケースに服薬情報書を入れ、ユニット会議などで共有を図っている	○	食事後など服薬を確認し、必要な方には服薬介助を行っている
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便状況をチェック表などで確認し便秘時は水分補給や運動、マッサージなどを行なっている	○	便秘が続く方は服薬などで調整している
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアの実施や入れ歯のケアなどを実施している	○	うがい薬などの使用などで改善を図っている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77 ○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量の把握や水分量の把握を行っている	○	水分不足になり易い方はスポーツドリンクなどの飲水を行なっている
78 ○感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染予防の知識を共有し、日々の消毒などを実施している	○	感染症の研修やマニュアルの提示などで知識を深めている
79 ○食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	厨房での衛生管理は毎日行い、食材の管理も厨房内にて行なっている。グループホームの台所では布巾や台所用品などの消毒を実施している	○	食事前の手洗いなどを行っている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> (1) 居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に看板を設置し誰でも相談に来られるようにしている	○ 玄関周りに植木や花を植え入り安い雰囲気を作っている
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者に分かるようにトイレの表示を行ったり、リビングにソファを設置しくつろぎ安いうように工夫している	○ 北側共有スペースを図書室に変更予定
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングや共有スペースや廊下にイスを設置しどこでもくつろげるように配慮している	○ 自由に過ごしていただき話をしたい時にはリビングなどに来られている
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅から使い慣れた家具やテレビなどを持って来たりしている	○ 本人の希望により家具やイスなどを家族に持参してもらっている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>換気扇の使用や窓の開閉にて空気の入替えを行なっている。温度調節は状況に応じて行なっている</p>	<p>○</p>	<p>利用者にも過ごしやすい状態どうか伺って調整している</p>
<p>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>室内はバリアフリーで、手すりなども多く設置し車椅子の方でも自由に移動出来るようになっている</p>	<p>○</p>	<p>浴室にも手すりを多く設置しより安全に利用出来るように工夫している</p>
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>利用者の状況によって処遇の工夫を行い混乱のないように支援している</p>	<p>○</p>	<p>利用者の状態によりレクリエーションの工夫や家事手伝いの促しなどの支援を行なっている</p>
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>プランタンでの花作りや庭の畑での家庭菜園などを行なっている</p>	<p>○</p>	<p>庭の花を楽しんだり、家庭菜園の収穫を楽しんだりされている</p>

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

個別処遇を重点に置き本人の行きたい所などもっと多く出かけて行きたい。